

# マリゼブ®って どんなお薬？

監修：永寿総合病院 糖尿病臨床研究センター長 渥美 義仁 先生

マリゼブ®は

## 週1回1錠の服用で血糖をコントロール するお薬です

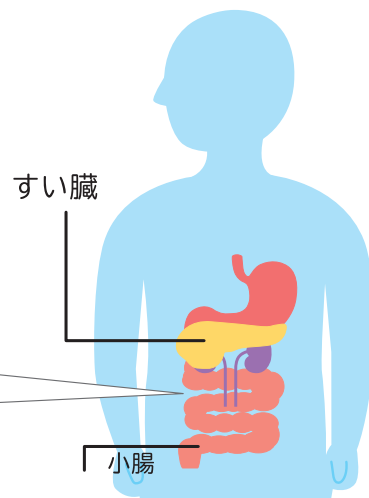
### ■マリゼブ®の働き

小腸には、食物が入ってくると分泌される**インクレチン**というホルモンがあります。マリゼブ®は、週1回1錠の服用で活性型**インクレチン**の働きを高め、血糖値を下げるお薬です。

1

#### インクレチンとは

食事をとると**インクレチン**が小腸から分泌されます。**インクレチン**はすい臓に働きかけてインスリンを分泌します。



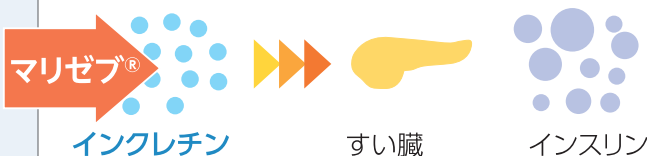
2



#### インクレチン作用不足

ところが、**2型糖尿病患者さん**では**インクレチン**の働きが弱くなっています。

3



マリゼブ®は、体内の活性型**インクレチン**の働きを高め、血糖値を低下させる糖尿病治療薬です。

マリゼブ®は食事による血糖上昇に応じてインスリン分泌を促進します

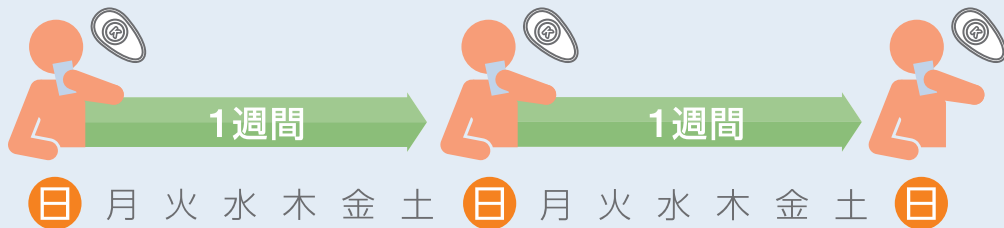
# マリゼブ®は週1回1錠服用するお薬です

のみ間違いがないようにご注意ください(毎日のむお薬ではありません)。  
気になる症状があらわれた場合は、すぐに医師・薬剤師に相談してください。

## <正しい服用方法>

週1回1錠を服用します。曜日を決めて服用してください。

(例えば日曜日に服用する場合)



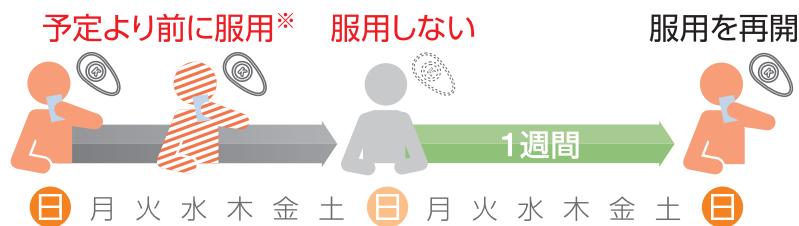
## <服用し忘れた場合>

のみ忘れに気づいた時点で1回分を服用し、次回以降はあらかじめ決めた曜日に服用してください。ただし、同じ日に2回分を服用することは避けてください。



## <間違って予定より前に服用した場合>

1回分の服用を休んで、次の予定日から服用を再開してください。



## <間違って2錠同時に服用した場合>

1回分の服用を休んで、次の予定日から服用を再開してください。



※間違って服用した場合は、医師・薬剤師に相談してください。

# 低血糖症に注意しましょう

マリゼブ®により、低血糖症(血糖値が60~70mg/dL以下)が起こる可能性があります。特にインスリン製剤やスルホニル尿素薬と併用している場合は、注意してください。

## 低血糖症が起きた場合

低血糖の症状(症状には個人差があります)



※低血糖症があらわれる血糖値には個人差があります。

## すぐに糖분을摂り、安静にしてください

<糖分の例>

- ブドウ糖
- 砂糖10~20g
- ブドウ糖か砂糖を含む清涼飲料水



砂糖(10~20g)

※ $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害薬との併用により低血糖症があらわれた場合は、糖質を含む食品や砂糖ではなく、ブドウ糖を摂取するようにしましょう。

低血糖症を  
起こした場合は、  
必ず主治医に  
ご連絡ください

## シックデイのときは

シックデイとは、糖尿病患者さんが、かぜなど他の病気にかかり、発熱、下痢、嘔吐など体調を崩した状態や、食欲不振により食事ができない状態をいいます。

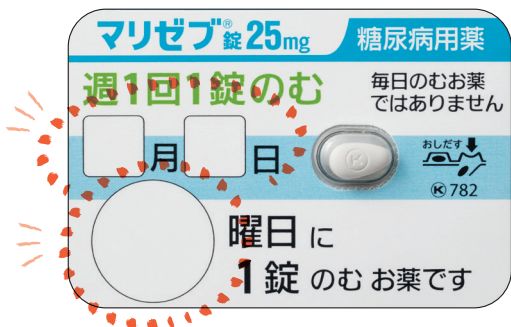
ご自分の判断で  
薬をやめたりせず、  
必ず主治医に  
ご相談ください

週1回の服用を忘れないために

# マリゼブ<sup>®</sup>のパッケージをご活用ください

■パッケージ表面に、服用する曜日と日付を書いて規則正しく服用しましょう

マリゼブ<sup>®</sup>錠25mg (表面)



マリゼブ<sup>®</sup>錠12.5mg (表面)



■パッケージ裏面のシールをご活用ください

マリゼブ<sup>®</sup>錠25mg (裏面)



マリゼブ<sup>®</sup>錠12.5mg (裏面)



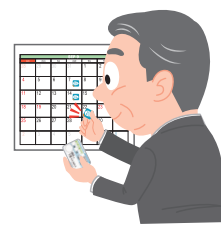
## <活用例①>

薬をもらったら、のみ忘れ防止のためにシールをカレンダーに貼っておく。



## <活用例②>

薬をのんだ後に、記録としてシールをカレンダーに貼る。



医療機関名